「博多町家」ふるさと館

博多区冷泉町6-10

■開館時間・休館日■
午前10時～午後6時
（入館は午後5時半まで）
無休（年末を除く）

■入館料■
一般200円
地下鉄1日乗車券提示で50円引き
※中学生以下、障がいがある人、福岡市・北九州市居住の65歳以上の人は無料（証明できるものが必要）

■交通■
地下鉄空港線・祇園駅下車、2番出口から徒歩約5分

明治中期に建てられた町家を移築してつくられた「博多町家」ふるさと館は、明治・大正時代を中心に昭和初期までの博多の暮らしと文化を凝縮した施設です。

展示棟には博多祇園山笠を映像で紹介するコーナー（1回22分・1時間に2回上映）や、商人の暮らしを再現したコーナーなどがあり、趣向を凝らした演出で古きよき博多の町や暮らしに触れることができます。

古絵葉書にみる博多祇園山笠展

明治の終わりから昭和初期にかけての博多の街並みと、そのころの博多祇園山笠の様子を、全60点の貴重な古絵葉書で紹介します。展示棟で7月31日㈭まで。入館料が必要です。

博多伝統工芸体験

同館では毎日、展示棟と町家棟で博多の伝統工芸を実演しており、日ごろなかなか見られない制作の様子を間近で見ることができます。**（表参照）**

そのうち博多織と博多独楽（色付け）は誰でも体験が可能。伝統工芸士などが指導しますので、全く初めての人でも安心です。博多織は無料、博多独楽はみやげ処で白木の独楽（630円）の購入が必要。博多独楽のみ、できあがったものを持ち帰れます。いずれも予約は不要です。

8月10日・夏祭り

今年で14年目を迎える同館では、8月10日㈰の開館記念日に夏祭りを開催。

「いけどうろう」（箱庭）の飾り付けが行われる午後3時からは露店が登場。金魚すくい・ヨーヨーつり・かき氷の3つセットが1人100円で楽しめます。

午後5時からは「町家寄席」と題して、町家棟で落語や漫才、博多にわか、博多独楽曲芸等が行われ、誰でも自由に観賞できます。

（左）体験機を使います（右）博多のお土産も各種そろっています

■博多伝統工芸の実演

実演内容	実演日程	実演場所
博多織	毎日	町家棟（無料）
博多曲物	毎週月曜日	展示棟の入館料が必要
博多張子	毎週火曜日	
博多独楽	毎週水曜日	
博多人形	毎週木・金・土・日曜日	

▷実演時間＝1日2回（▷展示棟＝11時～13時・14時～16時▷町家棟＝11時～13時・15時～17時）

遊びに来ちゃんしゃい

午後7時からは先着100人にほおずきちょうちんと線香花火をプレゼント。当日は午後8時まで開館。

【問合せ先】
「博多町家」ふるさと館（☎281・7762 ホームページwww.hakatamachiya.com/）

福岡市美術館

中央区大濠公園1-6

■開館時間・休館日■
午前9時半～午後5時半
※8月末までは日祝日を除き、午後7時半まで開館（いずれも入館は閉館の30分前まで）
月曜休館
（祝日の場合は翌日）

■観覧料／常設展示■
一般200円　高・大生150円
地下鉄1日乗車券もしくは、地下鉄空港線・大濠公園駅または地下鉄七隈線・六本松駅発行の乗車証明書提示で50円引き
※中学生以下、障がいがある人、福岡市・北九州市居住の65歳以上の人は無料（証明できるものが必要）

■交通■
地下鉄空港線・大濠公園駅下車、3番出口から徒歩約10分。
地下鉄七隈線・六本松駅下車、2番出口から徒歩約10分

大濠公園内にある同館は特別企画展以外に、テーマごとに展示替えを行う常設展示も見どころが満載。

夏休みこども美術館2008

7月23日㈬から8月31日㈰まで、子ども向けに美術作品を分かりやすく紹介する夏休みこども美術館を開催します。いずれも小・中学生は無料。保護者が参加する場合は常設展示観覧料が必要です。

対話形式のギャラリートーク

こども向けギャラリートーク▽常設展示室にある国内外のさまざまなアートを、美術館ボランティアが楽しく、分かりやすく案内します。毎日午後2時半から約40分（予約不要）。

美術館探検▽普段は見ることができない美術館の裏側を探検。最後にこどもギャラリーを鑑賞します。日程や申込み方法など、詳細は10面をご覧ください。

夏休みこどもとしょかん「よんでみよう！みてみよう！江戸のアート」▽こどもギャラリーの展示作品に関連する図書や子ども向けの美術に関する本などを、1階の読書室で読むことができます。

ギャラリーツアー

美術館ボランティアが常設展示室（古美術・近現代美術）の中から毎回異なる3作品をテーマに沿って選び、案内します。午前11時と午後2時からの1日2回※いずれも約40分、1階案内カウンター前に集合。夏休みこども美術館期間中は午前の回のみ実施します。予約不要、常設展示観覧料が必要です。

狩野探幽筆　黒田忠之像

こどもギャラリー「江戸のアートを楽しもう！」▽江戸時代のお殿様やお姫様が使ったり見たりしていたアートを飾ります。パネルを使った解説で、誰でも楽しく鑑賞できます。

ボストン美術館浮世絵名品展

歌麿、北斎などの代表的絵師による版画から、肉筆画ほか第一級の作品を厳選。多くが日本初公開です。

7月12日㈯から8月31日㈰まで。観覧料は一般1300円、高大生800円、小中学生500円（前売り・団体、各種割引はいずれも200円引）。

【問合せ先】市美術館（☎714・6051 Ⓕ714・6145 ホームページwww.fukuoka-art-museum.jp/）

立ち寄りスポット（中洲川端駅・6番出口上り徒歩スグ）　福岡アジア美術館

アジアの近現代の美術作品を収集・展示する世界で唯一の美術館■午前10時～午後8時（展示室への入場は午後7時半まで。水曜休館）■アジアギャラリー観覧料／大人200円、高・大学生150円（地下鉄1日乗車券または地下鉄空港線・中洲川端駅発行の乗車証明書提示で50円引き）※中学生以下、障がいがある人、福岡市・北九州市居住の65歳以上の人は証明するものの提示で無料■博多区下川端町3-1（☎263－1100Ⓕ263-1105）

立ち寄りスポット　舞鶴公園・福岡城跡

市美術館のすぐ隣の公園。園内には各種スポーツ施設（利用は要事前予約・有料、問合せは管理事務所☎781-2153Ⓕ715-7590）のほか、福岡城跡や鴻臚館跡などがあり、花の名所としても有名。これからの季節はハスが見ごろです。■鴻臚館跡展示館／入館無料、午前9時～午後5時※入館は午後4時半まで（☎・Ⓕ721-0282）

市長あのくさ日記

福岡市の動物園には有名な雄のゴリラ、ウイリー君（推定44歳）がいます。知ってる人も多いと思いますが、コップを使って水を飲むという「国内でただ一頭」の特技の持ち主です。

この春にライオンズクラブの人たちがウイリーの石像を贈ってくれました。博多人形師の中村信喬さんがデザインし、ウイリーの腕の前で二人が座れる形になっています。私も座ってみたところ、「森の王者」が守ってくれているような安心感がありました。

ゴリラ像を作ったのが人形師。福岡らしい温もりを感じ、子どものころからウイリーを好きだった中村さんの愛情が伝わってきます。つい最近は近くのホテルと一緒にウイリーのクッキーも作りました。ウイリーの前で食べてみてください。喜んでちょいと一杯水を飲む特技を披露するかもしれませんよ。

福岡市長　吉田宏

聞きたかけん

平成20年度　第4・5回

百年町家で博多の文化に出会う～第4回

第4回は博多区の百年町家（大博町）で、博多の歴史を後世に継承し、郷土に誇りを持ってもらおうと活動している「ハカタ・リバイバル・プラン」の皆さんと懇談。市長は語り部として皆さんが話される、愛してやまない昭和の博多区大浜地区の状況や当時のエピソードなどに耳を傾けていました。

薫風の中で雨水を語る～第5回

第5回は城南区樋井川で雨水の有効活用を提案する「NPO法人南畑ダム貯水する会」の皆さんと懇談。各家庭で雨水をため、植栽の散水などに利用する「節水」や降雨時でも一気に水が流れ出ないようにする「浸水対策」などについて意見交換しました。

「南畑ダム貯水する会」の皆さんと

市長は懇談を終え「地域を知ることがまちを愛することにつながる」「雨水をテーマに鋭い提言をいただいた」と、それぞれ語りました。

【問合せ先】広聴課（☎711・4067Ⓕ733・5580 メールkocho.MO@city.fukuoka.lg.jp）

目指せJ1復帰!!　7月後半～8月前半のアビスパ福岡のホームゲームは、7月20日（日）午後7時 対 横浜FC、8月3日（日）午後7時 対 湘南ベルマーレ。
所 レベルファイブスタジアム　※観戦には公共交通機関（地下鉄・臨時バス）のご利用を。